

## 首里高生になったキミへ ～高校卒業までに身に付けるべき資質・能力～

校長 田名 裕治

首里高生のみなさん、将来の職業を決めることはできていますか。少なからずとも「こんなことをしてみたい」と、おぼろげながらも思い描いているかもしれませんね。勉強に力を注ぐためにも、この目標をたてる必要があります。そして、その職業に必要な「資質・能力」は何でしょうか。君達はこの3年で、卒業するまでには、その資質・能力を身に付ける必要があります。

内閣府が提唱している「Society5.0」の到来により、我々の生活様式や学校における教育活動も大きく変わります。世界が大きく変化する中、IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術の進展が進んできており、我が国は、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れていくことでしょう。

このような社会で皆さんが、リーダーとして活躍するために身に付けなければならない「資質・能力」はどのようなもののでしょうか。これから先、皆さんは、答えのない課題に多くぶつかることになると思います。ですから、今やっておきたいのは、自ら課題を見つけその解決策を探っていき、たとえ解決できなくても納得解を導き出す、「課題解決力」が必要となります。さらに、この解決については、一人で行うのではなく、チームで協力して取り組む事が大事になってきます。自分自身の考えを訴える力である「プレゼンテーション力」が必要になり、お互いに意見を交わし、よりよい解決に向かうために「コミュニケーション力」が必要だと言われています。

課題が何であるかを的確に見出し、共有できる力。すなわち「思考力」や「創造力」も必要となり、チームで取り組むためには、協働する力も必要不可欠です。

国学・県立一中・首里高等学校の220年余の伝統を貫く精神に「海邦養秀」があります。「次世代を拓く、知性と品性を備えて逞しい人」とは、まさにそのような資質・能力を備えた人物なのだろうと校長は確信しています。それと同時に「国際的視野」、「主体的な探究心」、「論理的思考力・表現力」も探究の時間で育成し、身に付けてほしいと思います。

この「探究型学習」を通して狙うのは「深い学び」です。教科科目を深く学ぶことで、見方・考え方が際立っていき、物事の本質を捉えることができるようになります。与えられた課題が解ければ良いのではなく、その背景にあるもの、本質的なものを見抜く力を自分自身で習得・確立して欲しいものです。

これらの資質・能力を身に付けるために、皆さんが受ける普段の授業はとても大切です。「1日1日の各教科の授業を大切にし、授業内容を本当の意味で理解する」凡事徹底の精神で学びに精励して下さい。

人間としての自分を磨き、知識・技能を高め、何よりも思考力や創造力を高めることで、皆さんの人生が幸せになることでしょう。「Well Being」です。首里高生の奮闘に期待します。